

# 明野通信

(題字：日野伸一校長 筆)

大分工業高等専門学校広報

第 126 号

2018年11月5日

大分市大字牧1666

TEL(097)552-6075

<http://www.oita-ct.ac.jp>

## 第55回九州沖縄地区高専体育大会 第53回全国高専体育大会



**卓球** 九州沖縄地区高専体育大会  
男子団体 第3位 女子団体 優勝  
(於：別府市総合体育館べっぷアリーナ)



**野球** 九州沖縄地区高専体育大会  
(於：中津市ダイハツ九州スタジアム)



**柔道** 全国高専体育大会  
(於：大分県立総合体育館)



**剣道** 九州沖縄地区高専体育大会  
(於：大分高専第2体育館)



**バスケットボール**  
九州沖縄地区高専体育大会  
(於：別府市総合体育館べっぷアリーナ)

※記事の詳細は16～17頁参照

### 目 次

巻頭言〔校長〕	2	学生会便り	18
主事室便り	3	寮生会便り	20
新任教職員挨拶	4	新生入生・編入生・留学生の声	21
オープンキャンパス	6	地域共創テクノセンターから	22
学年通信	11	インターンシップ報告	23
専攻科便り	15	海外との交流	24
高専大会等結果報告	16		

## 巻頭言

より一層の教育の充実と  
地域貢献をめざして

校長 日野 伸一



平成30年度も約半年が経過しました。4月には、本科4学科に高校及びモンゴルからの編入生を含む164名の新入生、および専攻科2専攻に30名の進学生が新たに加わりました。また、私、日野が前校長の古川明德先生の後任として、本校第10代目の校長に就任しました。私のほかに、都市・環境工学科に帆秋利洋教授(環境)、一般科に大野順子准教授(国語)、福村浩亨講師(数学)の3名の教員が新たに加わり、合わせて教員59名、事務系・技術系40名の職員の運営体制となりました(平成30年5月1日現在)。また、本校の学校運営を支えて戴く3主事(教務・学生・寮務)は昨年度と同様、高橋徹教授(電気電子工学科)、佐藤達郎教授(一般科理系)、葉師寺輝敏教授(機械工学科)、そして専攻科長には新たに嶋田浩和教授(情報工学科)にお願いしました。さらに、教員陣を支える事務体制も小林謙次郎事務部長以下、昨年度と大きな異動もなく、このような布陣で、今年度の本校の教育研究をはじめとする諸活動を担ってまいりますので、よろしく申し上げます。

さて、平成16年度から始まった独立行政法人化の下、5年ごとに組織としての教育・研究・社会貢献・国際活動等の目標、それに基づく年次ごとの年度計画を策定して、諸活動の実践および改善を繰り返し行っていますが、本年度は第3期中期目標期間の最終年度を迎えています。機構の指導の下、第3期期間中の諸

活動の総括を踏まえ、米年度からの第4期に向けて、本校の55年に上る実績と伝統、地域社会との連携やグローバル化社会への対応を踏まえた、今後のあるべき姿、取るべき方向性をしっかりと見据えながら諸活動に取り組んでいかねばと考えているところです。

昭和37年度、「6-3-5」のユニークな学校制度の下に誕生した国立高等専門学校ですが、今まさに“KOSEN”として国内の産業界のみならず、海外からもその高等教育機関としての存在が高く評価されています。高専は、大学の工学部とは異なり、中学卒業しての入学当初から専門教育も取り入れた5年一貫の教養・専門の楔型教育カリキュラムを採用して、通常の高校のように大学入試を考えずに安定的に実践的な技術者教育に専念できる教育課程を導入している点が最大の特徴です。そして、専攻科課程を修了し大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することにより、大学卒業と同等の「学士」の称号が授与されます。また、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の課程から成る本校のシステムデザイン工学プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けて、専攻科修了生は全員、技術士一次試験を免除された修習技術者として処遇されています。

以上のような本校の教育に対する伝統的な教職員の取り組み姿勢および卒業生の社会での活躍は、産業界や地域の官公庁からも高く評価され、おかげさまで今年度の就職求人倍率は一人当たり30倍近い高人気となっております。大変ありがたく思っています。

一方、高専の特徴として、現在、約200名の学生が学生寮に人居して、日々、学年を超えた先輩後輩の中で寝食を共にしながら学校生活を送っています。寮生活を通じて得られる経験の数々は、人間性教育としてもきわめて意義深いことだと思っています。また、30にのぼる体育系、文化系の部活動も活発に行われています。本年度も、数々の競技において、

本校の活躍がみられました。本校の部活動の中でも特筆すべきは、やはりロボコン部の活動でしょう。一昨年の全国大会準優勝、昨年度の栄えある「ロボコン大賞」の受賞に続き、本年度も全国大会での連続受賞をめざして活躍を大いに期待しています。

最後に、米年度からの第4期中期目標期間に向けた本校の教育研究、地域連携に対する取り組みの一端をご紹介しますと思います。文部科学省が高専に対し公募する競争的な特別教育研究経費“KOSEN(高専)4.0イニシアティブ”において、昨年度に「アグリエンジニアリング教育研究の導入」(30年度も継続)、本年度に「『災害に強いおおい』づくりを支えるレジリエントマインドと基盤的知識を持ったエンジニア育成」のプログラムが連続採択されました。いずれも、地元大分の地域特性としての農業、そして年々脅威を増す数々の自然災害に、本校の各専門学科で培う縦系専門教育に加えて、横系教育として農工連携教育や防災減災人材育成教育を、地元大分の産官学各機関との連携を強化して組織的・戦略的に取り組んでいきたいと考えています。既に2年目を迎えたアグリエンジニアリングに関しては、工業技術者のための農学教科書を出版してTV講義システムを導入した専攻科学生対象の農学概論の授業やプロジェクト実験、さらには地元JAの大葉部会や三つ葉部会との連携による共同研究などのプロジェクトが着実に成果を上げてきています。同様に、防災減災レジリエントに関しても、県内唯一の土木系学科を有する高等教育機関としての本校の重要な使命として地域社会に貢献していかねばならないとの強い責任を自覚して、現在教育カリキュラムの構築と学外組織との連携体制の強化に取り組んでいるところです。

保護者の皆様、地域・産官学の各組織の皆様、そして本校卒業生の皆様には、本校の発展に対し、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

# 主 事 室 便 り



教務主事 高橋 徹

教務主事室は学生課とともに授業・カリキュラム・成績・学習支援・教育環境・入試業務などの教務全般を担当しています。今年度から新メンバーとして尾形主事補(機械工学科)が加わりました。

高専教育の質保証を行うしくみとして全国の高専で導入されつつあるモデルコアカリキュラムが本校においてもカリキュラムに内包され、今年度から完全実施となりました。これに呼応して導入が進められている全国高専共通フォーマットのWebシラバスも今年度から運用しています。ただ、学習のふりかえりのし易さという点では少し不便になってしまいましたので今後改善をはかりたいと考えています。

本校では、科学と教養と専門工学をしっかりと身につけることのできるカリキュラムを充実することに加えて、専門性だけでなく技術者としての可能性を広げる教育の充実にも力を入れています。

その一つがアグリエンジニアリング教育です。これからの農業では工業化や専門工学の活用が益々進んでいくと思われます。そこで技術者に必要な農学の素養も身につくカリキュラムを構築しつつあります。今一つが、レジリエントマインドを持った技術者の育成教育です。防災・減災には、各専門工学の技術を総合していくことが重要です。そのための防災の基礎が身につくカリキュラムの構築を今年から始めます。これらの教育は、工学技術がさまざまに社会に役立つその可能性を学ぶ機会にもなるものと考えています。

技術をより深く知り充実発展させていく力、技術を愛する力、を磨くためには自己学習と読書がとても大切です。継続的に学習し、読書する習慣を是非身につけて頂きたいと願っています。



学生主事 佐藤 達郎

本年度の学生主事室は、主事補として昨年度から継続の一般科理系川内谷一志先生・機械工学科手島規博先生、新たに情報工学科西村俊二先生の3名と主事佐藤で構成されています。主事補1名減ですが、学生支援係とも連携しながら学生の厚生・補導関係に当たっており、皆さんが健全で快適な学校生活を送れるよう努めていますので、今後とも協力を宜しくお願いします。

4月、初めて「香々地青少年の家」で新入生オリエンテーションを実施しました。学生会・各科指導学生の準備段階から当日までの尽力で充実したオリエンテーションになりました。

今夏は、昨年の北部九州豪雨災害に引き続き西日本豪雨災害が発生し、多くの方が被災されました。心からお見舞いを申し上げます。豪雨に加え例を見ない猛暑の中、第55回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会が、本校を第2担当校(野球・バスケット・卓球・剣道)として開催されました。全国大会には、団体は地区大会で優勝の卓球部女子、準優勝のサッカー部、競技担当校としてテニス部、柔道部が参加しました。また個人では、陸上競技部・卓球男子シングルス・テニスダブルス・水泳部が参加しました。地区大会・全国大会の結果については、後出の大会結果を参照してください。猛暑の中、本当にお疲れ様でした。

秋には、平成最後の高専祭と音楽祭が同窓会「明愛会」設立50周年記念行事と連携して開催されました。企画・運営に携わった学生会役員・スタッフに深く感謝します。ありがとうございました。また、記念講演会も実施され、卒業生の貴重な講話を聴講することができ、将来に向けての道標となった学生もいたのではないのでしょうか。

最後に、昨年ロボコン大賞を受賞したロボ研部は、地区大会3連覇を果たし、ロボコン大賞・全国優勝のダブル受賞を目指しているのでしょうか。



寮務主事 薬師寺 輝敏

寮務主事を務めさせていただいて4年目となります。今年度寮の体制は、1寮:朝美淑子主事補、2寮:石川誠司主事補、3寮:トメック主事補、4寮:石川秀大主事補、5寮:稲垣歩主事補となっております。担当寮生の指導を行っております。事務室では佐藤繁久係長、糸長美智子係員が、施設や予算他、諸々のお世話をしております。

また、女子寮(1寮)には、橋本伊津美、上向井紀子さんが寮母として、夜10時まで体調管理や悩み相談等、親代わりのお世話をしております。さらに、佐藤満則、尾渡誠一、平山幸生、佐藤克己、工藤洋子指導員が教員とともに宿直業務を行っております。9月1日現在、明野寮には本科生、専攻科生、留学生合わせて199名の学生が在寮しております。10月から、新しい寮生会長に4E坂本泰都が就任し、各寮寮長、厚生部、美化部、緑化部、企画部、内務部、広報部、ネットワーク管理部、会計、書記、選挙管理委員等の寮生会役員が自治組織を形成しております。今年度新しくポイント制度を設けました。点呼時不在等、寮の規則違反を犯すことにポイントを加算し、一定ポイントを超えると、ペナルティーが課される制度です。この制度導入で、寮の規則違反が格段に減少しています。寮の食事は給食業者に任され、一日3食、何と1,070円で提供されています。契約どおりの食事が提供されているのか、私もお昼ご飯を検食することがありますが、値段の割りに、味もボリュームも充分であるように感じます。金曜日の朝はバイキング形式の朝食が寮生に人気です。また年に数回、原価を無視してステーキを提供することもあります。こんなときは道を挟んで向かいの学校から寮食堂にダッシュする学生が見られます。寮生が安心して学習し、また心と体を休められるように今後も務めて参ります。

# 新任教職員挨拶



一般科文系 大野 順子

国語科に着任いたしました大野です。

これまで大学で、専門である中世和歌関連の授業をしてきました。もともと文学を学びたがっている学生に、専門的な講義をしてきたわけです。

一方、大分高専は理系科目を得意とする学生が集まる学校です。国語になんか興味ない、と言われてしまったらどうしようと思心戦々恐々としていたのですが……。蓋を開けてみれば、古典が得意だという学生さんや、本好きの学生さん、国語に苦手意識はあるけれどこれからしっかり学びたいと打ち明けてくれた学生さん。——国語教員が舞い上がってしまうような言葉をかけてくれる方が何人もいて、頬が緩んでいるこの頃です。

国語は、言葉を通して人と人とが心を交わす方法を学ぶ科目だと考えています。隣にいる誰かと笑いあって過ごすため、ともに学んでいくことができれば嬉しいです。



一般科理系 福村 浩亨

「挨拶のできる人」

はじめまして。数学科の福村と申します。今年度より赴任して参りました。主に低学年の数学の授業を担当します。また、今年度の部活動は野球部の副部長です。

大分高専に赴任して、毎日驚くことばかりです。敷地の広さ、授業における学生の集中力、主体的に動く姿勢などです。このような恵まれた環境の中で働くこと

ができてとても幸せに感じています。

私の専門は代数学の環論ですが、数学教育についても研究しています。反転授業やジグソー法など様々な教授法を実践し、学生のみなさんが少しでも「わかった!」「楽しい!」と思ってもらえるような授業を実践していけるよう頑張ります。



情報工学科 渡辺 正浩

今年度、赴任しました渡辺です。専攻科の担任をしています。学生の方々は若々しく、明るく挨拶をされるので、とても品の良さを感じます。

私は、情報通信関係の授業と、研究室では実際に無線装置を使って、電波を扱う実験中心の活動を行っています。研究室のテーマは「外の世界を知る」です。授業で学んだことを基礎として、プロ無線資格取得の勉強会や、実験の成果をまとめた学会発表を積極的に進めており、外の世界へ旅に出ようなどと言っています。これにより、他大学や企業の方とのつながりが出来て共同研究へ発展したこともあります。

また、研究室独自の論文合宿を行っています。業界・学会の話や近年の動向等も含めて、自由な意見交換の場を設けています。しっかりした目標を持って、学生生活を有意義に取り組んでいきましょう。



情報工学科 十時 優介

「はじめまして?」  
初めましての方は初めまして、そうで

ない方はこんにちは。この度お隣の北九州高専より赴任して参りました、十時と言います。

北九州高専ではサッカー部の顧問として練習試合のために大分高専へお邪魔していました。

北九州にいた際の大分高専の学生の皆さん(サッカー部の学生が中心になってしましますが……)の印象は明るく元気な学生が多いなと言ったもので今も変わらない印象を持っています。

専門分野は制御工学と福祉工学です。福祉工学については聞きなれない人も多いと思いますので私なりの解釈で簡単に紹介すると「生きていくために不便・できない事柄について工学的な視点から解決を図る学問分野」と説明をしています。この分野に興味のある人は是非、雑談に遊びに来てください。これからよろしくお願ひします。



都市・環境工学科 帆秋 利洋

「故郷に貢献」

工業高等専門学校では異色の「農学」博士です。37年ぶりに母校の大分高専へ教授として戻って来ました。高専卒業後に大学・大学院へ進学し、その後は東京で大手ゼネコンの研究所に従事していました。高専では土木を学びましたが、その後方向転換して環境分野を中心に様々な社会経験を積んできました。今後は、これまでの経験を活かし環境と農学の分野で、学生の教育と地元大分の発展に尽力したいと思います。

久しぶりの大分生活で、街全体の変貌ぶりに驚きの毎日です。これから、多くの知人・友人が大分を訪問すると思います。その時には、海の幸・山の幸が豊富で世界屈指の温泉大国、大分の良さを限無くPRしてまいりたいと思います。

## 新任教職員挨拶



総務課総務係 帆足 美香

「はじめまして」

平成30年1月より、総務課付事務補佐員(一般科事務員)として勤務しております帆足です。

前職では大学事務をしておりましてので、学生の年齢層や雰囲気、授業のスタイルなど、高専と大学の共通点や相違点を感じながら日々新鮮な気持ちでお仕事させていただいております。

一般科事務員は新しいポジションで前任者も居ませんでしたので、当初は右も左も分からず不安でしたが、教職員の皆様が温かく迎えてくださったおかげで、ご指導やお声がけを頂きながら少しずつ環境にも慣れてきたのではないかと感じています。

先生方のお役に立てよう一生懸命頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



学生課図書係 足立 多架子

平成30年4月より学生課図書係の事務補佐員として勤務しております、足立と申します。

図書館では、図書の装備や雑誌の受入業務などを担当しております。学校や図書館での勤務は初めてで、驚きや戸惑うことがたくさんありますが、学生の皆さんのさわやかな挨拶で毎日元気もらっています。

私の名前が多架子の『架』の字には、橋を架けるという意味があり、橋を『架』けることのように『多』くの人様の役に

立つようと、祖父が付けてくれたそうです。私自身まだまだ力不足で、多くの皆様のというわけには到底及びませんが、これから大分高専で少しでも皆様のお役に立てるように尽力してまいります。

ご迷惑をお掛けする事もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



総務課用度係 後藤 敦史

平成30年7月1日付けで大分大学医学・病院事務部学務課から総務課用度係に着任しました後藤敦史と申します。大分高専は初めての勤務地であり、また、これまでは主に学生系(特に入試業務)でしたので、用度係という経理の業務は全くといって良いほど知識も経験もありませんが、先生方、学生の皆様を陰で支える重要な部署であると認識しております。少しでも早く業務を覚えて、皆様方のお役に立てよう努力していく所存です。

学生さんの元気な「おはようございます」「こんにちは」という挨拶を聞く度に、よし！今日も学生さんたちのために頑張ろう！という気持ちになります。身長183cmの目立つ風貌ですので見かけたら気軽に声をかけていただけると嬉しいです。

どうぞよろしくお願ひします。



技術部 高野 明日香

平成30年4月から技術部技術職員に着任した高野です。主に、機械工学科の

実験・実習と、3次元CADを担当しています。

大分高専の卒業生で、電気電子情報工学専攻を修了しました。その後、食品製造の会社に入社し、4年間食品の製造、機械のメンテナンス等を行っていましたが、現在は自分の学んだ学科とは異なりますが、優しい教職員の方々のご指導のおかげで新たな知識や技術を身に付け、楽しく仕事ができています。

学生時代の楽しい思い出の詰まった大分高専で働くことになり、とても嬉しいです。これから大分高専での学生生活を過ごす学生にも、「大分高専に来てよかった」「楽しい学生生活だった」と思ってもらえるよう学習面、生活面でのサポートができればと思っています。



技術部 立花 久美子

「よろしくお願ひいたします。」

平成30年4月1日付けで技術部の技術職員として着任しました立花です。都市・環境工学科の土質実験や水理実験、設計製図、また物理実験について担当しております。

私は本校の都市システム工学科(現：都市・環境工学科)を卒業しており、このたび約9年ぶりに母校へ帰ってまいりました。

前職は「保線」といって線路の保全業務に従事しており、広島・山口エリアの線路の検査やレール等各種材料の管理を行ってまいりました。

主に担当する実験実習では学生の皆さんが安全に取り組めるようサポートしていきたいと思っております。

気軽に話しかけて頂けたら嬉しく思いますので、これからよろしくお願ひいたします。

# 平成30年度 オープンキャンパス



オープンキャンパス実行委員会  
委員長 一宮 一夫

平成30年度大分高専オープンキャンパスが6月30日(土)に開催されました。

オープンキャンパスは、本校への進学を考えている中学生とその保護者、そして周辺地域の方々に本校の施設を公開し、各種イベントや実験を通して本校についてより深く理解していただくことを目的に、毎年7月頃に開催しています。

今年度は、雨天でしたが、朝早くから多くの方々にご来場いただきました。中学生602名を含め総数1,585名の来場者数は、過去最多の昨年度に迫る来場者数となりました。

例年同様、入試問題解説、入試・学校説明会及び学生による学科紹介は、大盛況で、多くの方が熱心に耳を傾けてくださいました。

また、一昨年度から始めたスタンプラリーも好評で、各会場に設置したチェックポイントを巡ってスタンプを集めることにより、楽しみながら、各イベントに参加していただくことができました。

アンケートの実施結果からも、大変満足していただいた様子が伺えるとともに、オープンキャンパスをきっかけに本校を志願する小中学生も多いことから、今後も充実したイベントとなるよう学校を挙げて取り組んでいきたいと思ひます。

学科等	イベント内容	時間
教務主事室	入試・学校説明会	11:40~12:10
	高専なんでも相談コーナー	12:00~15:00
専門4学科	学生による学科紹介	12:10~12:40
寮務主事室	学寮見学・食事体験 ※食事体験のみ要予約	学寮見学3回 10:00~10:15 11:00~11:15 13:00~13:15 食事体験【要予約】 12:15~13:15
		9:30~11:20
一般科・ 実行委員会	高専入試問題解説 ※同程度の内容を3回実施(1科目約20分)	●レクチャーホール【理、英、数、社、国】 ●アカデミックホール【数、社、国、理、英】 13:10~15:00 ●レクチャーホール【理、英、数、社、国】
		終日
技術部	足踏みミシンボランティア活動紹介!!	終日
機械工学科	光(レーザー)と機械で彫って、切って、 ネームプレートを作ろう!	終日
	鋳造でオリジナルストラップを作ろう	9:30~11:30/12:30~14:30 (製作時間15分)
	各種材料試験の公開と顕微鏡の実演 機械工学科でロボット体験!	終日
	小形ガソリンエンジンが動く! (シリンダ内の爆発が見えます!)	終日(1時間おきに案内)
	色んな流れを見て感じてみよう!	終日
電気電子 工学科	学生のアイデア作品大集合!	終日
	色々なロボットを見て、触ってみよう!	終日
	近未来を実体験! 人工知能や3Dの世界を感じよう!!	終日
	フレミングとMr.電気	終日
	雷様の力を体感しよう!	終日
情報工学科	何ができるかな? 3Dプリンタ・レーザー加工機	終日
	動画像であそぼう ~動画スタジオへようこそ~	終日
	レーダで呼吸状態を識別	終日
	CGでパンダを作ろう!	CG/11:00~12:00 パンダ/13:00~14:00
	錯視と脳の不思議	終日
都市・環境 工学科	ゲームでアルゴリズムを学ぼう 学生作品展示	終日
	YouTubeライブ(生放送)	終日
	コンクリートの不思議	終日
	地盤災害について考えてみよう!	終日
	ドローンを使って土木を学ぼう! ※ドローンの実演飛行(10:30~11:00/13:30~14:00)	終日
一般科理系	あなたの一步は何センチ?	終日
	廃油キャンドルを作ろう!	終日(5名単位で随時)
	科学実験を楽しもう!	9:30~12:00/13:00~15:00
一般科文系	漢字・語句で遊ぼう!	終日
専攻科	専攻科の紹介	終日
	専攻科生の研究紹介	終日
共通施設	学食開放	11:00~14:00(なくなり次第終了)
	図書館の一般開放	10:00~15:00
学生会	受付	終日
	学生会新聞配布	終日
	質問コーナー	終日
	学校行事&部活紹介の写真展示とビデオ上映	終日
	【囲碁将棋部】来たれ将棋部!	終日
文化局	【茶道部】お茶会	終日
	【写真部】写真展示	終日
	【電子計算機部】ゲーム展示、タイピング大会	終日
	【文芸部】一緒にイラストを描こう!	終日
	【科学部】科学実験を楽しもう!	9:30~12:00/13:00~15:00
	【気象天文部】気象天文部活動展示	終日
	【軽音楽部】オープンキャンパス特別ライブ	13:00~
	【書道部】いろんな作品を見てみよう!	終日
	【吹奏楽部】吹奏楽部ミニコンサート	11:30~
	【美術部】ART CREATION	終日
【ロボ研部】ロボット実演・操縦体験	終日	

# オープンキャンパス 機械工学科

## ●小形ガソリンエンジンが動く! (シリンダ内の爆発が見えます!)

シリンダ内でガソリンが爆発する様子を、学生実験で使用するガラスシリンダの小形エンジンを用いて観察しました。エンジンの動く様子は迫力満点。音と振動を体感して頂くとともに、スロットルをコントロールし回転数を合わせることも体験して頂きました。他にも、実際の自動車のエンジンの展示や、来場して頂いた方により深く興味を持って頂くため、学生が作成した紙芝居風の説明資料を基に車全体の構造と合わせてエンジンの原理を説明しました。紙芝居のおかげか、展示時間外でもとても多くの質問を頂き、質問に対する担当学生の必死の説明と合わせてとても盛り上がる内容となりました。



## ●光(レーザー)と機械で彫って、ネームプレートを作ろう!

波長1,064nmのレーザー光源を用いたのステンレス鋼材(ネーム・タグ)へのマーキング(非接触加工)を体験して頂きました。オリジナル(自由)にデザインした文字が数秒~十数秒という短い時間であつという間に彫られる様子を実際に見て頂き、光のエネルギーを感じ、体験するという新しいイベントになりました。また、厚さ3mmのポリカーボネート板にコンピュータ制御のモデリングマシンを用いて小さな切削工具でイラストやネームを機械的に彫るという方法もご紹介致しました。世界で一つだけのプレートの出来栄に皆さん感激して頂きました。



## ●各種材料試験の公開と マイクロスコープの実演

実際に学生実験の授業で使用している万能試験機を用い、ボルトの引張破断試験を公開しました。荷重の増加とともに鋼のボルトがくびれて、大きな音を立てて破断する様子には驚きの声が目立ちました。釣り糸の強度コンテストでは、何度も挑戦して熱中する人が多数。鋼の熱処理実演では、熱により鋼の特性が変化する様子に皆興味津々。マイクロスコープの実演では、お札の中に隠された文字を一生懸命探すなど、小中学生はもとより、保護者の方々にも好評でした。担当学生の熱心な説明や指導も、場を楽しく盛り上げてくれました。



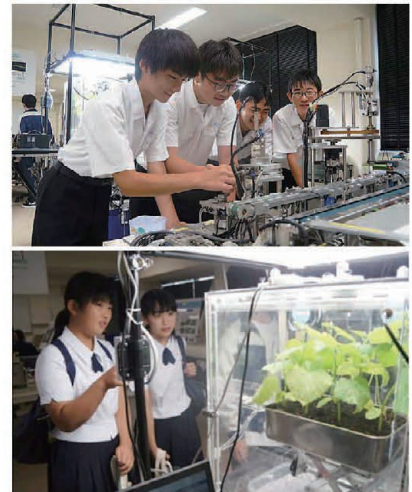
## ●鋳造でオリジナル ストラップを作ろう

熱で溶かした金属を型に流し込み成形する「鋳造」という加工法により、オリジナルのストラップ作りに挑戦してもらいました。自分の好きな形の鋳型の作成、溶かした金属の流し込み、紐を通すための穴あけまでの工程を実際に体験して頂きました。雨の中、今年も沢山の方に来場して頂き大盛況のイベントになりました。小さなお子様も参加して一生懸命に取り組み、最後にきれいなストラップが出来上がると大変喜んで頂きました。長時間のイベントでしたが、担当の学生たちは丁寧な指導を心がけ、場を盛り上げてくれました。



## ●機械工学科でロボット体験! アグリエンジニアリング植物実験

LEGO教育セットを用いたロボット製作、メカトロ無人工場のデモンストレーション、対戦形式のロボットバトル等の体験をしていただきました。また、産業用ロボットアームによるダンスも披露しました。今年からさらに、アグリエンジニアリング実験「きゅうりの栽培」に関する実験装置を紹介しました。たいへん盛況でした。



## ●色んな流れを見て感じてみよう!

「水・空気・粉」の色んな流れが体験できるイベントを学生課前広場で開催しました。「手作り風車」のコーナーでは、見本を基に厚紙で風車を作り、風洞実験装置にて風車の回転数を競いました。「粉を分けよう」のコーナーでは、粉を空気で浮かせてピンポン玉とビー玉が分かれる様子を実感してもらいました。各コーナーとも学生諸君の熱心な説明と指導で、大変好評でした。



# オープンキャンパス 電気電子工学科

## 何ができるかな？ 3Dプリンタ・レーザー加工機

レーザー加工機を使ってエコバッグに絵や文字を入れて、自分だけの作品を作ることができました。また、3Dプリンターや電気回路の基板加工機が動作している様子を見ることができました。

レーザー加工機は本来、プラスチックやアルミの板を自在にカットする機器なので、焦げないように出力を調整しました。来場者は自分で描いた絵がバッグに焼きつけられていく様子に興味津々でした。できあがったオリジナルのバッグは素敵なお土産となりました。



## 学生のアイデア作品大集合！

本科1、2年生の「プログラミング」の授業でグループ製作した数多くのゲームプログラムやレゴマインドストームのロボットを公開しました。実際に学生達だけで作り上げたプログラムやロボットで遊べるということもあり、毎年好評を得ています。今年も、戦艦型ロボットやラジコンなど大掛かりなものを展示しました。また、シューティングやパズルなど様々なジャンルのゲームを多くの来場者に体験してもらうことができました。



## 雷様の力を体感しよう！

1/1000000秒の間に200,000[V]の電気を発生させ、人工的に発生させた雷(プラズマ)を体験しました。また、普通では電気の通らないガラスに強い電圧をかけるとガラス表面を電気を通していく現象に関する実験もしました。どちらの「雷様」についても本科5年生と専攻科生が丁寧に説明してくれました。



## 色々なロボットを見て、 触ってみよう！

本科4、5年生が実験の授業で作ったロボットやゲームを展示しました。作品は、パソコンと連動する自転車、カメラ付き戦車、コインゲーム、UFOキャッチャー、ダーツ、逃げる目覚まし時計、戦闘ロボットと様々なものがありました。毎年、製作した電子回路基板にPICマイコンというデバイスを搭載、来場者に楽しんでもらえるような作品を目指しています。どの作品も学生の工夫と努力が垣間見える力作でした。



## フレミングとMr.電気

フレミングの法則など日常生活にかかすことができない電気と力の関係について4、5年生と専攻科生による実演を行いました。誘導電動機の原理がわかる実験や、磁石の力で形が変わるおもしろいスライム(磁気スライム)の作成実験を来場者に体験してもらいました。発電の大変さを体験できる自転車発電も学生さんに好評でした。



## 近未来を実体験！ 人工知能や3Dの世界を感じよう！！

人工知能(A.I.)のデモンストレーション？3Dテレビはどんな原理で映るの？テレビのアンテナってどんな仕組みなの？巨大コイルの電磁誘導で音楽が聞ける？など難しそうな技術を使った実験についてわかりやすく楽しみながら体験してもらいました。A.I.のデモンストレーションではコンピュータが瞬時にカメラに写っているものを認識する様子を楽しんでもらいました。また、3D映画では来場者にリオデジャネイロのコルコバード、ピラミッドから自分の家まで、世界中を旅行してもらいました。





# オープンキャンパス 情報工学科

## 錯視と脳の不思議

『眼で見えるものは確かなものである』と人は考えがちです。しかし、本当でしょうか？錯覚を体験して、脳がいかにか情報を作っているかを体験してもらおうというのが、この企画の意図でした。紙で作ったトラが、不思議なことに私達の方に首を回して見続ける「リバースパースペクティブ」、同じ大きさのものが背景によって大きく見えたり、小さく見えたりする「大きさの恒常性」などの錯視を実際に体験できるイベントを用意しました。このような脳の不思議を体験していただくと同時に、私たちが行っている脳波研究の内容や、脳波測定器具についても展示して説明しました。



## レーダで呼吸状態を識別

呼吸時の胸の数ミリの動きをレーダで計測できるデモを行いました。高い周波数の電波を使って僅かな動きでも、計測信号のベクトルが回転していく様子が見られます。参加された方は、自分の通常呼吸と早い呼吸の違いや、物の動きの様子を知ることが出来ました。高周波部品は低価格化が進み、レーダは小型軽量化できるので、小さな装置で、病院のベッドで寝ている患者さんの状態を、非接触で知ることが出来ます。他にも、山や崖

の様子を監視する等の防災への応用も展開しています。



## 動画像で遊ぼう ～動画スタジオへようこそ～

今年度のオープンキャンパスの展示では、本校の動画スタジオの設備を紹介し、緑色などの特定の色の画像領域を別の画像で置き換える、いわゆるクロマキー処理による実時間動画像合成のデモを行いました。

また、画像編集ソフトウェアを駆使して、クロマキー処理と同様な原理を写真の合成に応用する体験コーナーも設けました。自分の手で画像素材を実際に編集し、自分なりの合成写真の作成に挑戦していただきました。



## YouTubeライブ(生放送)

インターネットを通してオープンキャンパスの様子を放送しました。合計で約530視聴がカウントされ、また、たくさ

んのテキストコメントが寄せられました。高専へ来場できなかった方にもオープンキャンパスを楽しんでもらえたと思います。来場者には撮影中のスタジオを見学してもらい、希望する方には出演もしていただきました。



大分県立オープンキャンパスのライブストリーム



大分県立オープンキャンパスのライブストリーム

## ゲームでアルゴリズムを学ぼう 学生作品展示

どういう命令文を書けば、エージェントが目的地にたどり着くあるいは、課題をクリアできるかという趣旨のゲームを用いて、アルゴリズムについて簡単に学習していただきました。また、専攻科生が作成したゲームを展示し、ゲームを作成する授業もあるということを知っていただきました。昨年に引き続き、多くの方にご来場いただきました。



# オープンキャンパス 都市・環境工学科

## ドローンを使って土木を学ぼう!

建設現場においてIoT技術が積極的に取り入れられている中で、その代表的な技術であるドローンを用いて土木について学ぶ取り組みを行いました。

来場者には、ドローンに搭載されたカメラにより撮影された画像を処理することによって、地形をモデル化するシミュレーション映像を見ていただき、また、実際にドローンのカメラが捉える映像をリアルタイムでモニターから確認していただくなど、土木分野でドローンが担う役割について知っていただきました。他にも、コンピュータによるフライトシミュレーションや、小型ドローンの実機を実際に操縦していただくなど、いろいろな形でドローンについて体験し、土木について知っていただきました。

一方、天候により予定通りとは行きませんが、雨の合間を縫って午前、午後と合わせて2回のドローンの飛行実演を実施し、上空から見た大分高専を紹介することができました。上空を飛行するドローンを見て、建設業でのドローンの活用について具体的にイメージしていただけたと思います。

ドローンを活用することによって、人間の進入が困難な場所を調査できます。さらに、ドローンに搭載されているカメラにより撮影された画像や映像をコンピュータ上でモデル化することによって得られた地形図を設計・施工に用いることができます。この体験を通じて、情報技術の進歩により変化する建設業について関心を持っていただければ幸いです。



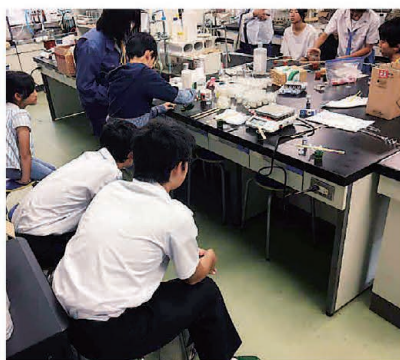
## 地盤災害について考えてみよう!

地盤環境工学実験室では、電解凝集法の実験を行いました。現在、本研究室では、沖縄県内の赤土等流出抑制技術の開発に取り組んでおり、本実験は、その一環として行っているものの一部です。今回は、容器に懸濁物質SSが2,000mg/Lとなるように赤土等懸濁液を入れ、その中にアルミニウム電極板を2枚入れて通電を行いました。当初は赤く濁った赤土等懸濁液が約5分間の通電によりきれいになる様子を見て、多くの来場者の方が驚かれていました。



## 天ぷら廃油でキャンドルを作ろう

持続可能な環境保全の大切さが問われ、資源ごみの3R (Reduce, Recycle, Reuse) が要求されています。そこで、家庭から出るゴミのうち、天ぷら等の揚げ物廃油をカラフルなキャンドルへリサイクルすることを試みました。小さなお子様から中学生を中心に多くの方々にキャンドルを作ってもらいました。子供達がモノの大切さと環境保全を再認識する良い機会になったのでは無いかと思います。



## あなたの一步は何センチ?

当日は生憎の天気でしたので、急遽会場を都市・環境棟2階東側の廊下で行いました。その為屋外に比べて、狭く、短い距離で行わざるを得なくなり、来場者の減少を心配しましたが、我々の予想以上の多くの方々に、ご自分の一步の歩幅を実感してもらいました。

自分の歩幅を知っておくと種々の大きさを簡単に知ることができます。この体験を通して身の回りの長さや大きさを、機会があったら自分の体で測定してみてください。



## コンクリートの不思議

コンクリートの圧縮試験機を使った圧縮強度とトラス橋の設計にシミュレーションを紹介しました。近年、国内において甚大な自然災害が発生していることから、参加者の多くの方が社会資本を支える構造設計について興味を示していただきました。また、在校生の丁寧で分かりやすい説明について感心されました。



## 学年通信

## 1・2学年クラス通信

## 部活動を5年間続けよう

1M担任 大庭 恵一

緊張感にあふれていた入学式から早半年が過ぎ、1Mの学生たちも高専生活に慣れてきたように思います。

高専は周知のとおり、5年間一貫教育で、普通高校とは違い、学生の自主性を重んじた校風です。日々の授業はもちろんのこと、それ以外の空いた時間をどのように過ごすかで、現在の混沌とした社会を乗り切る力を身につけることができます。部活動に所属しているみなさん、ぜひ5年間続けてください。日本の中学・高校・高専で行われている部活動は、実は、世界でも高く評価されている教育活動です。私は、陸上競技部の顧問ですが、5年間真剣に取り組んだ学生は、最後の大会を感動の涙で終え、人間的に大きく成長して卒業していきます。部活動が抱えている問題もあるのは事実ですが、それを意義あるものにできるかは学生たちの取り組み次第です。ぜひ、部活動を君たちが盛り上げて、周りのみんなも元気にしてあげてください。

## 歳月人を待たず

1E担任 辻 繁樹

月日が経つのも早いもので、みなさんが4月に入学してから半年が経過しました。最初は新しい環境に戸惑うことも多かったと思いますが、ようやくこの環境に慣れてきたころかなと思います。卒業までのあと4年半、長いように感じるかもしれませんが、あっという間にその時が来てしまいます。これからみなさんの前に様々なイベントが訪れますが、単純にただイベントをやり過ごし消化してしまうのは非常にもったいないです。選り好みせず何事にも興味を持ち、視野を広げて多くの知識を獲得すること、選り好みせず何にでもチャレンジし、実際に様々なことを経験することを心がけてください。

何が将来の自分にとって役立つ事なのか？そんなことは誰にもわかりません。遠い未来において過去を振り返った時、はじめて分かるものだからです。

## 高専生活を楽しんでますか。

1S担任 プロハースカ ズデネク

高専に入学してから、早くも半年が経ちましたが、みなさん、高専生活を楽しんでますか。香々地でのオリエンテーションや球技大会などの学校行事を経て、入学当初のクラス内の緊張感が少しずつ和らぎ、すっかり和やかな雰囲気になりました。また、部活を通じてほかの学科と学年の学生とのつながりも広がったのではないのでしょうか。

一方、授業時間は1コマ90分であり、授業の難易度も高く、中学校のころと大きく変わったことも少なくなく、環境変化に戸惑いを感じている学生もいます。高専が辛いと思ったとき、高専の受験勉強を一生懸命頑張ったころをもう一度思い出して、諦めないでください。また、悩みを決して1人で抱え込まないでください。高専の中では相談相手になってくれる人が大勢います。恥ずかしがらずに声を上げてください。

これからも、乗り越えなければならぬことが多くあります。目標をもって、夢を諦めずに、少しずつ先へと進みましょう。

## いよいよ後半戦です

1C担任 池田 昌弘

皆さん、前期はいかがでしたか？4月に高専に入学して、初めての90分間の授業、そして、中学校とはレベルが違う教科の学習内容、と慣れない日々が続いたかと思います。また今年の夏は異常なほどの暑さでした。みんなが夏バテしてないか心配でしたが、夏休み期間中に心身ともに充電して、回復してくれていることを願います。

いよいよ後半戦です。心と頭を切り替えて、また日々の生活を過ごして欲しいと思います。10月は体育祭、高専祭と学校イベントも多く、また部活動では新人戦に参加する人もいるかかと思えます。勉学ともに充実できるよう心がけて頑張ってください。秋は実りの季節。皆さん自身の「果実」を育てて欲しいものです。

## 大事なとき

2M担任 坂本 裕紀

本年度から、皆さんの担任になりました。前任の先生から引継いで、まずは皆さんのことを知ることを大事にしたいと思っております。前任の先生ほど話上手ではありませんが、とにかく、今年はよろしくお願ひします。

前期を終え、クラス全体は元気のある楽しい印象があります。元気があり過ぎて、授業中少し騒がしいところもありますが……まあ、元気が無いよりはましです(笑)

さて、2年になってみての感想はいかがでしょう？昨年よりも授業のレベルが上がって四苦八苦しているところだと思います。実際、成績がなかなか振るわなくてもかいている人も多いのでは？3年になると更に専門科目が増えるので、何よりも今が大事です。分からないことは何でも私の所に質問にきて良いので、一人も欠けることなく3年を目指しましょう！

## いつまで「逃げる」人生ですか？

2E担任 藤本 教寛

スマホのソーシャルゲームは楽しくて、ネットでYoutubeを見るのが楽しくて、やりたくないことはやりたくなくて、嫌なことからは逃げたくて……。

その気持ちのどれにも共感できる経験が先生にもあります。高校生だった頃の先生もまた、最初は「逃げる」ばかりの学生生活でした。しかし、その姿勢を続けることが、人生において(本人を含め)誰も幸せにしないという事実が見える経験をしました。そして「逃げる」のを途中でやめました。「逃げる」のを途中でやめた後は、とてもきつい日々でしたが、不思議と気持ちは晴れやかでした。日々の生活で感じていた、後ろめたい気持ちは一切なくなりました。

多くの学生は頑張り始めた姿勢が見える一方で、一部の学生の過ごし方には未だ残念な気持ちしか抱きません。いつまで「逃げる」人生ですか？その先に行き着く未来には、果たして何が待っているのでしょうか？“今”から始めれば、未来は変えられます。

## 学年通信

## 2・3学年クラス通信

## 案外短い高専生生活

2S担任 藤原 宏司

「高専は5年制なので、学生生活は長くて大変でしょうね。」と聞かれることがある。卒業生に感想を聞いてみるとそれほど長く感じていないようだ。その主な理由は、4・5年生は就職や進学の設定や準備の為忙しく、月日は瞬く間に過ぎて行くからだと思う。短大生や2年制の専門学校生が多忙なのと同じだろう。

2年の前期を終えた君たちにとって、学習や部活動にじっくり取り組める時間は残り1年余りということだ。ゆとりのあるこの時期に、しっかりと将来について考え知識を身に付けてほしい。

自分の進路を決めその準備ができるのは自分だけという大原則を忘れることなく、大切な人生の選択を他人に託さずに済むように、今から少しずつ準備を始めて下さい。You can do it!

## 自分の将来のために

2C担任 田中 美穂

この原稿を書いている時点では前期の授業が終わったところですが、活字になる頃には秋に集中する多くの学校行事が終わり、落ち着きを取り戻していることでしょう。

後期の定期試験が2回残っています。3回目の追認試験が控えている人もいるかもしれません。高専は、進級するための合格ラインが高く設定されており、厳しいです。なかなか勉強がはかどらない人もいるでしょう。進路に悩む人もいるでしょう。一方で、上位の成績を目指して勉学にいそしむ人もいるでしょう。高専の授業や高専生活が楽しくて仕方がないという人もいるでしょう。人それぞれだと思います。

日本の政治も経済も、社会も科学も大きく変化しています。今後もますます様変わりしていくことでしょう。だからこそ、自分の将来をしっかりと見据えて、自分の将来のために、どうかかたちであれ、勉強を頑張ってください。

## 高専生のメリットを生かして

3M担任 菊川 裕規

高校3年生ならば、今頃、大学受験に向けて必死に受験勉強に明け暮れていることでしょう。しかし、高専生である皆さんは、受験勉強に明け暮れることもなく、有意義な夏休みを過ごしたと思います。大学受験がないということは、高専生の最大のメリットです。受験勉強に費やす時間を有意義に活用してほしいと思います。4年生になれば、夏休みのインターンシップに向けてどの企業へ応募するか、大きな選択を迫られます。インターンシップ先がそのまま就職へとつながる場合もあります。目先のことでなく、これから20年後や30年後を見据えて、自分が歩む道を真剣に考えてほしいと思います。自分の人生は自分で決めなければなりません。将来を見据えて、今やるべきことをやりましょう。

## 男子校だ!

3E担任 北川 友美子

私が3Eの皆さんと初めてお会いしたのは、今から2年前の春の基礎数学の授業の時でした。その頃は、まだ初々しく、何事にも直向きに取り組んでいる姿が印象的でした。もちろん現在も、何かに一生懸命打ち込む姿は変わっていません。3年生では男性ばかりになってしまい、すっかり恥じらいを忘れ、子供っぽさが全開になっているかもしれません。担任はそのため毎日大きな声を張り上げなければなりません、どこかで楽しいなあと思っています。そしてユーモアのセンスも学問のセンスも抜群だと思っています。表裏のない皆さんの人間性が私は好きです。どうかこのまま素敵な大人になって社会を明るくしてくださいね。

## 「折り返しですね」

3S担任 十時 優介

数ページ前に新任教員の挨拶をさせていただいてから、原稿を書いている時点で今年度も半分、皆さんのお手もとに届いた時点では70%が終了していることと思います。ということは3年生の皆さんの高専生活も(本科のみ見れば)全体の半分の半分を迎えたこととなります。高専生活楽しんでますか?

「半分」に関して有名な話として、物事について「もう半分しかない」ととらえるか「まだ半分ある」と捉えるか気の持ちようが大事といった内容のものがありません。さらに踏み込んで「残った半分の半分をどうするか」まで考えてみてはいかがでしょうか。特に時間は先日のW杯予選で日本代表が選んだように「なにもしない」という選択肢を選んで空費することができてしまいます。

残り半分を迎えるにあたって、残り2年+αで何をしたいか、何ができるか考えてみてください。

## 半分は忘れ、半分を考えよう

3C担任 東木 雅彦

これを今読んでいる時点で、皆さんは高専生活の半分以上をすぎたところですが、前半の高専生活は充実していましたか? 入学する前に思い描いていたように、うまくいきましたか? そうでない人がほとんどだと思います。ああすればよかった、こうすればよかったということがたくさんあることでしょう。でも、後悔からは何も生まれません。

羽生善治という棋士がいます。この天才棋士はある局面で次の一手を考えると、ほとんどの棋士とは違って、それまで指してきた手を活かそうとかは考えずに、つまり「過去」を断ち切って、純粋に「現在」の局面で最善の手を考えるそうです。

皆さんも、現時点での最善は何かを考えて、残りの半分の高専生活をより充実したものにして下さい!



## 学年通信

## 4学年クラス通信

## 残された時間は!?

4M担任 山本 通

諸君らの担任になって2年目となり、皆の個性を把握できるようになりました。インターンシップ応募のための履歴書作成では、うまく自己PRができない人が複数いて、心配になりました。しかし、実習先を自分で決め、応募書類を作成し、インターンシップに参加するという中で、自分自身に足りないことや、するべきことも明らかになったのではないのでしょうか？

認識していると思いますが、進路決定までに残された時間は多くはありません。学業成績を重要視するのももちろん、それ以外で自己PRできるネタも完成させる必要があります。既にある程度、完成している人は、もっと上のレベルを目指してください。数年後、君達のほとんどは世界を舞台に活躍しなければならないと思います。今のうちに多くのことにチャレンジし、時には失敗もして人間力を高めていってください。残された時間が少ないことを認識し、準備を進めてください。



## 「自律」

4E担任 田中 大輔

初担任となった現4Eの第一印象は元気で仲の良い「まとまりのあるクラス」です。一方で、周りや相手のことを考えて行動できない学生がいることが気になりました。自らを律すると書く「自律」。インターンシップや研修旅行を通じ、働くことや社会人となることを少し理解した皆さんは「自律」が「ちゃんとした」

社会人になる上で必要なことだと理解できるのではないのでしょうか？ゲームやスマホで遊びたい、寝たい、まわりを気にせずに皆で騒ぎたい、おしゃべりしたい、お酒やタバコに手を出したい…誘惑はいつも身近にあります。誘惑に負けずに資格やTOEICの勉強、レポートや課題、会社や大学の調査ができれば、自分が将来進みたい方向を見定め、その方向に進む人になるための準備が調います。クラス全員での進級にも「自律」はとても大事です！大人がみんなできる訳ではない「自律」を学生の内にできるようにすれば、カッコいいと思います。目指してみようですか？

## 見えないものを見る

4S担任 徳尾 健司

これまで物理や数学、プログラミングを学んできてみなさんが得たものは、“抽象的なものを、抽象的なまま理解する能力”だと思います。そしてこの能力を通して、“世界の本質は、目に見えるままの形では存在していない”という事実を、初めて知ることとなったわけです。

なぜこんな話をするのかというと、就職の応募書類に「私たちの生活に欠かせない身近な製品を作っている貴社に魅力を感じ…」といった趣旨の志望動機を書く人が、とても多いんですね。これだとしても、自分の周りの半径5メートルの日常しか見えていないような、浅薄な印象を与えてしまいます。世の中には、まだまだみなさんの知らない無数の企業があり、職種があり、あるいは学問分野があるわけです。普段目に見えているものの後ろに、どんな社会が広がっていて、どんな世界の構造があるのか？ということにも関心を持ち、理解しようとする努力をしてほしいと思います。



## 楽しい1年間でありますように!

4C担任 佐野 博昭

平成25年3月に卒業生を送り出して以来、5年振りの担任となりました。今回は、男子23名、女子14名、総勢37名のクラスです。

クラス担任になって、以下のような6つのクラス年間目標を掲げました。

1. 挨拶をする。
2. 毎日、最低1時間は自宅学習をする。
3. 1ヶ月に1冊以上の本を読む。
4. ごみを拾う(校内美化コンクールでの上位入賞を目指す)。
5. お互いを認め合う。
6. 切磋琢磨の1年間とする。

4月からの半年を振り返ってどこまで達成できたかはわかりませんが、校内美化週間で1位にもなったことから、学生諸君の意識が徐々に変わっていることを実感しています。

さて、8月16日から校外実習が始まりますが、今年は34名の学生が参加します。それが終わると2泊3日の行程で関東方面に研修旅行に行きます。さらに、10月1日から後期の授業が始まります。そして、就職・進学活動スタートです。キャリア教育や校外実習の経験を活かして、是非とも希望する進路に進むことができるように頑張ってください。その前に5年生に進級することも重要な目標ですね!

## 学年通信

# 5学年クラス通信

### 「自己研鑽」

5M担任 中野 壽彦

この原稿を執筆している8月末現在、数名は就職・進学に向けて努力を続けていますが、大多数の学生は進路が決定しました。様々な苦労や葛藤、重圧がのしかかる中、卒業後の活躍の場を勝ち取ることができ、担任として嬉しく思っています。

卒業まで残された高専生活はあと数ヶ月。この期間、皆さんはどう過ごしますか。私は皆さんに「自己研鑽」に尽力してもらいたいと思います。卒業研究を徹底的にやり尽し、技術者としての能力を磨いて下さい。授業以外でも、外国語や各種資格、仕事に必要な専門能力の向上、やる事は沢山です。

面接練習をした時、よくある質問の一覧に「学生と社会人との違いは？」というのがありました。来年春から社会人になる人も学生を続ける人も、もう一度この質問への回答を考察して下さい。社会に出てからも絶えず自己研鑽が必須ですが、学生は自己研鑽に「集中」するための立場です。私たちはなぜ、社会人になる前に学生という立場が与えられるのか、その点を理解すると、今がどれほど貴重で大事なかが分かってくると思います。

### ゴールではなく、スタートです

5E担任 上野 崇寿

これを読んでいる多くの人が就職や進学のパレッシャーから解放されていることかと思えます。将来への道筋が未だ決まっていない人は、あと一歩です。気を抜かずに、諦めずに、最後まで走り抜けて下さい。きっと結果はついてきます。

今後は、卒業や研究に向けて邁進していくこととなります。5年生の後半は肉体的にも精神的にも最も余裕のある時間となりますが、将来を見据えて行動して下さい。

ここはゴールではなく、スタートです。勉強や趣味、研究なんでも構いません。来年度に向けてじっくりかつ着実に力を付けて行って下さい。ただ日々漫然と過ごしているのではもったいないですよ。今、この時間を有意義に過ごして下さい。卒業時に皆さんの笑顔が見られることを何より楽しみにしています。

### 現状を理想に近づけるための努力

5S担任 小山 幸伸

この文章が5Sのみ皆さんの手元に届いた頃には、既に多くの学生が次年度以降の進路を確定しており、卒業に向けて単位修得に励んでいることと思います。これから佳境を迎える卒業研究を、高専生活5年間の集大成と思って取り組んで下さい。卒業論文の提出日までの修業日を数え上げ、そこから逆算して計画的に進めましょう。

さて、望み通りの進路を確定した人、不本意ながらそうでない人、家族のことなど自身の能力や志向以外に配慮した上で進路を決めた人もいますが、いずれにしても納得した上で次に踏み出して頂きたいと思えます。進路選択で上手くいった人は、現状に留まらず、新たな目標を立ててそれに向かってまい進して頂きたいと思えます。中には、希望にそぐわない結果を悲観的に捉えている人もいますが、目標に向かって高いところに手を伸ばしたという尊い取り組みを、正しく自己評価していただきたいと思えます。

### 有終の美を飾ろう

5C担任 工藤 宗治

高専生活もあと半年余り、一日一日を有意義に過ごしていますか。高専生活は第4コーナーを回ってもう最後の直線に向かおうとしています。ゴールは先着を争うものではなくいかに最後まで走りきったか、やり抜いたかです。5年前の自分に5年間の成長した姿を見せられるようにあと半年ギアを上げましょう。

「有終の美」:物事を最後までやり通し、立派になしとげること。

皆さんが自分の目標に向けて、高専生活のゴールを全力で駆け抜けてほしいと願っています。

追伸:球技大会でのクラス総合2位は本当に嬉しかった!! ありがとう!! Tシャツも素晴らしい出来栄です!! 写真も一杯撮りました。思い出が増えていきます。



# 専攻科便り

## 学んでほしいこと

専攻科長 嶋田 浩和

本年度専攻科長になりました情報工学科所属の嶋田です。よろしくお願ひします。

早速ですが、昨年度末から本年度までの専攻科の状況を報告します。①平成30年3月に機械・環境システム工学専攻15名、電気電子情報工学専攻15名が修了しました。②平成30年度選抜試験において推薦で12名、学力で18名、合計30名の学生が合格しました。

現在社会では、様々な技術が融合して新しいものが提供されています。そのような社会に対応し、エンジニアの素養を身につけてもらうために、学校では、本校の特徴であるつながり工学を設定しています。その科目の中に災害をテーマとしたレジリエント工学、農業をテーマとしたアグリエンジニアリングがあります。ともに大分にとって非常に重要なことです。このように身近なテーマを基に、今後社会においてエンジニアの幅広い活躍のフィールドがある、そこに対してどのようなアプローチがあるかを考える機会です。そのために幅広い知識と相互に関連する技術と工学の社会的責任と権利について学んでいただきたいと思います。得られる知識を自ら制限せず、自分のために知識獲得には貪欲になってください。

入学した当時は、このようなエンジニアになりたい、ここに進学したいと思いをもち、専攻科に入学して頂いたことでしょうか。2年生はそれを進路に反映していることと思いますし、1年生はこれからその進路を確定する作業になります。もう世間では大人です。自分との将来、現在の自分については自分で責任を持ち、自己管理を行わないといけません。自分の将来に向かって自己実現のための努力を惜しまないでください。



## 機械・環境システム工学専攻

MC専攻主任 軽部 周

平成30年度のMC専攻2年生は、在籍者14名です。今年度の進路状況は、6月末の時点で、企業への就職希望者4名、公務員希望者4名、大学院進学希望者6名です。就職希望の学生は全員、5月までに内々定を頂きました。公務員試験は6月から、大学院推薦入試は7月からが本番です。就職から公務員または大学院進学に進路変更した学生もいますが、全員無事合格してくれることを祈っております。

今後は、専攻科修了と学士取得に向けて全力を尽くして下さい。特に学士取得のための学位申請の手続きには、細心の注意を払うこと。自分の取得した単位、後期に取得する単位をしっかりと把握し、更に学修総まとめ科目である特別研究IIの完成に向けて計画的に研究を進めて下さい。クラス全員がしっかりと自己管理できる立派な人材に育ち、本専攻科を修了されることを期待しております。頑張ってください。

## 電気電子情報工学専攻

ES専攻主任 本田 久平

平成30年度のES2年生は、就職希望者3名、進学希望者12名の計15名です。就職については、6月までに全員が内々定を頂きました。今まで経験したことのない就職活動に戸惑いながらも、各々が学生生活で頑張ってきたことをアピールできた結果ではないかと思ひます。進学についても、今のところ、希望する大学院に合格しています。このうち7名が推薦による合格です。これまでの学業成績もありますが、専攻科1年生のうちから大学の研究室に見学に行き、大学の研究内容をよく把握するとともに、研究会などで名前を覚えてもらうなど、自発的に動いていた結果だと思ひます。ES2年生は目標に向かって情報交換を行いながら一緒に取り組めるクラスだと思ひます。今後も専攻科修了と学位取得に向けてお互いに協力しながら頑張ってもらいたいと思ひます。

## 専攻科に入学して

MC専攻1年 戸田 健太

私は機械工学科から専攻科に入学しました。専攻科ではこれまで学んでいた機械工学の内容を深く学ぶだけではなく、都市・環境工学の内容も学んでいます。プロジェクト実験Iでは、各学科の学生が本科で学んだことを活かして、共同で物事に取り組みます。各々が知識を出して話し合い、自らにできることを考えて行動します。これらは、社会人にとって重要なことであるため、社会勉強にもなります。他学科との交流は、自分の知識の幅を広げることにもつながります。

専攻科の2年間は短い期間ですが自分将来と真剣に向き合い、大きく成長を遂げる大事な期間です。この専攻科生活を濃くて有意義なものにしたいと思います。

## 専攻科に入学して

ES専攻1年 中岡 黎

私は電気電子工学科から専攻科に入学しました。専攻科では、これまでの電気電子工学だけではなく、情報工学の内容も学んでいます。また、本科でも実施していたPBL(Problem Based Learning)を、専攻科の全学科で行うプロジェクト実験Iに取り組んでいます。テーマは「大葉栽培におけるLEDの消費電力削減」です。私はこのテーマのなかで、実験装置を製作しました。異なる学科出身の専攻科生が、それぞれに有する専門知識や経験を活かして、本科での製作に比べて高度なもの作りをしていると感じています。今年の専攻科入学生は電気電子工学科出身の学生が少なく、電子回路基板の作製では、少ない人数で効率よく作業を進めることの大変さを経験しました。更に、作業の中で、他学科とコミュニケーションを取ることが多く、自分の専門と異なる他分野の理解が作品の完成度に大きく影響することも経験しました。今後は電気電子工学や情報工学だけではなく、他分野の勉強も積極的に行い、これらの知識や経験を将来に生かしていきたいと思ひます。

# 九州・沖縄地区高専体育大会競技結果

## 第55回 九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会

★は全国大会出場

### ●担当校 熊本高等専門学校 (熊本キャンパス)

#### ソフトテニス

平成30年 7月5・6日

[熊本県民総合運動公園 パークドーム熊本]

●男子団体 準優勝

#### 水 泳

平成30年 7月7日

[熊本市総合屋内プール]



- 男子50m自由形 第8位：兒玉 峻暢(4C)
- 男子200m自由形 第4位：安藤 拓翔(1S)
- 男子800m自由形 第4位：小澤 和也(1S)
- 男子100m平泳ぎ 第6位：大石 龍太(2E)
- 男子200m平泳ぎ 第4位：稲田 真大(2C)
- 男子100m背泳ぎ 第5位：大石 龍太(2E)
- 男子100mバタフライ 第8位：朝田 悠斗(1S)
- 男子200mバタフライ ★第3位：小澤 和也(1S)
- 男子4×100mフリーリレー 第7位：朝田 悠斗(1S) 安藤 拓翔(1S) 稲田 真大(2C) 狭間 悠理(5C)
- 女子50m自由形 第7位：中屋敷 楓(2S) 第8位：清家 玲里(2M)
- 女子100m自由形 第4位：村上 彩音(5C)
- 女子100m平泳ぎ 第5位：山路 菜月(2S)
- 女子100m背泳ぎ 第4位：原 成実(3M)
- 女子100mバタフライ 第3位：村上 彩音(5C)
- 女子4×50mメドレーリレー ★第1位：山路 菜月(2S) 中屋敷 楓(2S) 原 成実(3M) 村上 彩音(5C)
- 女子4×50mフリーリレー 第3位：山路 菜月(2S) 中屋敷 楓(2S) 原 成実(3M) 村上 彩音(5C)

#### 陸 上

平成30年 7月21・22日

[熊本県民総合運動公園 陸上競技場]

- 男子800m 第7位：栗 誠哉(3S) 第8位：西谷 陸(5M)
- 男子1500m ★第4位：宿野 圭佑(4M) 第7位：栗 誠哉(3S)
- 男子4×400m 第6位：吉田 大成(2C) 宿野 圭佑(4M) 栗 誠哉(3S) 西谷 陸(5M)
- 男子砲丸投 ★第3位：後藤 滉太(1C)
- 男子200m(オープン) 第1位：小野 源太(A1ES) 第4位：森光 春暁(1C) 第8位：佐藤賢太郎(A1ES)
- 女子200m 第5位：越智 尚美(5C)
- 女子3000m 第7位：小手川ひかる(1M)
- 女子走幅跳 ★第1位：越智 尚美(5C)
- 女子走高跳 第4位：阿南 日和(1C)

### ●担当校 有明工業高等専門学校

#### 柔 道

平成30年 7月7・8日

[久留米アリーナ柔道場]

- 個人戦の部 73kg以下級 第3位：廣瀬瑠唯斗(2C)
- 個人戦の部 90kg超級 第3位：高野 聡(4E)

#### テニス

平成30年 7月13・14日

[熊本県民総合運動公園 パークドーム熊本]

- 男子シングルス ★準優勝：緒方 凱一(5M)
- 男子ダブルス ★優勝：緒方 凱一(5M) 甲斐 陸大(3E) ★準優勝：上向井大輝(4M) 繁松 天琉(2E)
- 女子団体 ★準優勝

#### サッカー

平成30年 7月13~15日

[福岡フットボールセンター]

- 準優勝 優秀選手賞 後藤 兼蔵(5E) 吉良 旭杜(5M) 猪原 奎斗(5S) 宮川 俊二(5S)



### ●担当校 大分工業高等専門学校

#### 卓 球

平成30年 7月21・22日

[別府市総合体育館べっぶアリーナ (サブアリーナ)]

- 男子団体 第3位
- 男子シングルス ★優勝：河津公志朗(5M)
- 男子ダブルス 第3位：河津公志朗(5M) 古門 瑞帆(5E) 第3位：甲斐 政善(4M) 藤原 円央(4S)
- 女子団体 ★優勝
- 女子ダブルス 第3位：浜野あすか(5C) 甲斐 杏子(3C)



# 各種大会結果報告・全国高専大会競技結果

## 第40回 九州地区高等専門学校少林寺拳法大会

平成30年 7月15日

### ●担当校 熊本高等専門学校(八代キャンパス)

- 単独演武 有段者初段の部  
第1位：大窪 律哉(5M)  
第2位：大窪 沢季(3M)
- 単独演武 段外者の部  
第2位：江藤 春輝(3M)
- 組演武 有段者の部  
第1位：大窪 律哉(5M)  
大窪 沢季(3M)

## 第35回 全国児童生徒俳句大会

平成30年 5月4日

- 大分県立学校長協会賞 日高 由佳子(4C)

## 第16回 アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡 高専アイデアソン

平成30年5月10日

- 最優秀賞 ultronチーム ウン ノオンリー(5C)
- スポンサー賞 sakuraチーム 本田 信也(A1MC)  
秋月 智也(A1MC)

## 第27回 九州地区高専 新人ラグビー大会

平成30年 5月19・20日

- 7人制 準優勝

## 全国高校囲碁選手権大会 大分県大会

平成30年 5月26日

- 女子個人戦 第2位：安部 萌(1C)

## 第66回 大分県高等学校総合体育大会

### 水 泳

平成30年 6月2・3日

- 女子50m自由形  
第7位：中屋敷 楓(2S)
- 女子100m背泳ぎ  
第6位：清家 玲里(2M)
- 女子400mリレー  
第5位：清家 玲里(2M)  
原 成実(3M)  
中屋敷 楓(2S)  
山路 菜月(2S)
- 男子400mメドレーリレー  
第7位：小澤 和也(1S)  
稲田 真大(2C)  
朝田 悠斗(1S)  
安藤 拓翔(1S)

### 少林寺拳法

平成30年 6月3日

- 男子(自由) 単独演武  
第3位：大窪 沢季(3M)
- 女子(自由) 単独演武  
第3位：安藤 遥(2M)

## 第50回 少林寺拳法大分県大会

平成30年 6月24日

### 少林寺拳法

- 単独演武 一般の部  
優秀(2位)：大窪 律哉(5M)
- 運用法 一般男子の部  
優秀(2位)：大窪 律哉(5M)
- 運用法 一般男子の部  
優秀(3位)：大窪 沢季(3M)
- 運用法 一般男子の部  
優秀(3位)：江藤 春輝(3M)

## 第53回 全国高等専門学校体育大会

### ●担当校 熊本高等専門学校(八代キャンパス)

### 陸 上

平成30年 8月18・19日  
〔熊本県民総合運動公園  
陸上競技場〕

- 男子1500m  
第8位：宿野 圭佑(4M)
- 女子走幅跳  
第6位：越智 尚美(5C)

### ●担当校 佐世保工業高等専門学校

### サッカー

平成30年 8月18～21日  
〔島原市営陸上競技場〕

- 第3位  
優秀選手賞：後藤 兼蔵(5E)  
吉良 旭杜(5M)  
得点王：南 椋斗(4S)

### ●担当校 北九州工業高等専門学校

### 卓 球

平成30年 8月25・26日〔北九州市立総合体育館〕

- 女子団体 第3位

## 第25回 全国高等専門学校 将棋大会

平成30年8月22～25日

### ●担当校 茨城工業高等専門学校

- 準優勝 岩尾 啓太(5E)

# 学生会便り

## 学生会長挨拶



学生会長  
5S  
小野 圭以吾

お世話になっております。学生会長の小野圭以吾です。最近料理を始めました。中でも極めつけは「味付け卵」です。日々の研鑽を積み重ね、納得のいく味玉を作ることができ、感涙の涙がこぼれ落ちました。

さて、「体育祭」「高専祭」「音楽祭」といった大分高専の誇る三大祭にお越しになられた皆様、いかがだったでしょうか？毎年、盛大な祭りが開催できているのは、学生だけではなく、皆様のおかげでもあります。本当にありがとうございます。これからご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、温かく見守ってください。

そして、もうすぐ会長としての任期が終わってしまうという事実を目の当たりにし、数々の想い出が蘇ります。

会長として自分が後輩やこの学校に何かを残せたかどうかはわかりませんが、精一杯職務を全うしたつもりです。こんな自分を支えてくださった、学生の皆さん、先生方、寮の職員の方々、そして学生会役員に感謝いたします。本当にありがとうございました。



## 副会長挨拶



副会長  
4M  
森 光志郎

こんにちは、副会長の森です。7月の西日本豪雨では、大雨災害警報が出され、大雨の影響でたくさんの尊い命が亡くなりました。私はこの災害で亡くなられた方々、そして被災された全ての方々へ心よりお見舞い申し上げます。1日でも早く復興が進みますように私も社会の一員として身近なところから努力していきたいと思えます。

さて、今年も夏休みが明け、大分高専の三大祭りが行われました。

私たち学生会の任期一年のなかでも一番大きな仕事といっても過言ではありません。私たちの全ての持てる力を持って全身全霊で取り組んでまいりました。ご協力ありがとうございました。

また、高専祭と音楽祭は毎年一般の方に公開しています。家族や友人、恋人と仲を深めるために、また、新しい出会いを求めて参加された方もいたのではないのでしょうか。



## 新入生オリエンテーション



総務局長  
5M  
石川 耕雪

こんにちは。総務局長の石川耕雪です。今年のオリエンテーションは豊後高田市の香々地青少年の家での実施となりました。不安な点もいろいろとありましたが特に大きなトラブルに見舞われることなく2日間のオリエンテーションを無事に終えることができました。新入生のみなさんにとっては高専生活最初の思い出に残る行事となったのではないのでしょうか。

私は新入生のみなさんが退所式の時に今回のオリエンテーションについて聞かれると、ほぼ全員、友達ができた喜びでいたことがとても印象に残っています。運営の最高責任者であった自分にとって本当に嬉しい感想でした。

新入生の皆さんには今回できた友達を大切に今後の学校生活を送っていただきたいです。今回は自身もリーダーとはどうあるべきなのかということ学ぶことができ、大きく成長することができました。今後は今回の経験を学生会活動に生かしていきたいと思っています。

最後になりますが、今回のオリエンテーションは指導学生や先生方、職員の方々のおかげで成功させることができました。関係者のみなさんに厚く御礼申し上げます。



## 球 技 大 会



体育局長

5M

片伯部 拳磨

こんにちは、体育局長の5M片伯部拳磨です。

先日の球技大会は晴天の空の下、無事に開催できたこと大変嬉しく思います。これもひとえに、野球部、サッカー部、バレー部、バスケット部、ソフトテニス部の部員の方々、そして学生会役員、先生方のご協力とご支援があったからこそです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

毎年のように球技大会に熱心なクラスが昼休みや放課後などそれぞれ空いた時間を見つけて真剣に練習に取り組んでいましたが、みなさん練習の成果は思う存分発揮できましたか？

とにもかくにも、今年は熱中症や大きな事故やケガもなく無事終えられたことを、主催者として大変嬉しく思います。勝って喜び合ったクラス、負けて悔しい思いをしたクラスなどさまざまだと思いますが、今回の球技大会を通して、クラス間の親睦や交友が少しでも深まり、今後の学校生活がより活気に満ちたもの、充実したものになってくれれば幸いです。

また、10月には体育祭が開催されました。秋の訪れを感じない程の熱気が伝わり我々主催側も嬉しい限りです。

来年も熱い球技大会を期待しています。



## 学 生 会 総 会



会計・監査局長

5C

今村 魁士

こんにちは、学生会会計の今村です。この度は明野通信に私の枠を用意してもらえということ、大変緊張しております。今回のテーマが「学生会総会」ということでたった450文字という少ない文字制限ですが精一杯自分の気持ちを表現したいと思いますので最後までお付き合い願います。

私が総会の準備を始めたのは4月から受験勉強もある中、とても大変でした。反省点も多く浮かび、来年度以降よりよい総会とできるようこの反省を後輩にしっかり引き継ごうと思います。

僕は大大高専が大好きです。

明野台地のあさぼらけ  
紺青映ゆる豊の海  
姿さやけき由布鶴見  
高き技術を身につけて  
郷土のさかえきずかんと  
若人われらここに立つ  
ありがとうございました。



## オ ー プ ン キ ャ ン パ ス



文化局長

5E

出田 陸

こんにちは。文化局長の出田陸です。6月30日に行われたオープンキャンパスでは、多くの方にご来場いただき大大高専が活気に溢れた一日となりました。私が担当した文化展示では、各部活の日のころの活動の成果を多くの人に見ていただきました。

茶道部、電子計算部、囲碁将棋部、文芸部では、笑顔で楽しそうに活動を体験する多くの方々の姿が見受けられました。

写真部、書道部、美術部、気象天文部では、作品の活動記録を、足を止め熱心に見てくださっている方々が多くいらっしゃいました。

また、体育館では、軽音楽部、吹奏楽部によるミニコンサート、ロボット研究部によるロボットの実演が行われ、来て下さった方も楽しんでいただけたことと思います。

今回のオープンキャンパスでご来場して下さった方々や先生方から意見や質問がありましたので、それらをしっかりと改善し、来年以降より良いオープンキャンパスにできるように努めます。各部活や先生方など多くの人と連携して無事終えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。



# 寮生会便り

電気電子工学科 4年  
坂本 泰都



後期寮生会長

後期寮生会長になりました電気電子工学科4年の坂本泰都です。「おいおい何呑気にこの記事を読んでいるんだよ！俺様は寮生会長様ぞ？今すぐ俺様のために働けこの愚寮生ども、...。」とか言う独裁者ではありません（真偽はあなたの目でお確かめください）。

この寮の主役は寮生一人一人です。なので自分がどうしたいかというより、寮生のみんながどうしたいかを聞き、それを今後の明野寮の発展につなげていきたいと思っています。私は指導寮生でもあるので身近に後輩と接していく中で、みんなの思い、意見などを聞いていけたらいいなと考えています。

生活面においても、一人一人が気づいたら意見でき、各自の行動が迷惑行為になるのかを考えられ、私が指導するより仲間同士で指導し合える雰囲気を作っていけたらと思っています（私自身の寮での生活態度はお手本になるどころか目も当てられない状況なので...）。

これだけは皆さんの意見を聞きたいと思っているのですが、実はコミュ症で根暗でございます。人前に出れば、それはそれは喋れない、テンパって、赤面して、いつもお世話になっている部活の先輩の名前を忘れる始末…。ですが、皆さんと一緒により良い寮を作っていきたいと思っていますので、どうか友達になってください（話しかけてください）。これから1年間“楽しい”をモットーに楽しい雰囲気作りに頑張っていきたいと思っています。応援よろ！

最後に、前寮生会長の和才蓮さんをはじめとする前寮生会のみなさん、本当にお疲れ様でした。皆さんのような立派な先輩になれるよう私たちも精進してまいります。そして、皆さんが作ってきたこの明野寮の味や色を大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

電気電子工学科 3年  
吉田 圭吾



後期寮生副会長

新しく寮生副会長になりました、電気電子工学科3年の吉田圭吾です。

寮生会に入ったばかりで分からないことだらけですが、寮生会長の坂本さんをはじめ先輩方をお手本とし、精一杯頑張っていこうと思います。

僕は夏休み等、長期休暇が始まったばかりは「やっつと休みだー」と喜ぶのですが2週間ほど経つと「早く寮にもどりてーなー」と呟いたりしています。同じような思いを持つ寮生もいるとは思いますが、「そんなこと思っていない」そういう人に「早く寮に戻りたい」そうしてもらえるような寮にする。それが僕の目標です。

寮は先輩や後輩、他学科の人と一緒に生活できる、なかなかない経験を積める場です。その経験を「楽しく」積み、「より良い」寮生活が送れるようサポートできればと思っています。

副寮生会長になったという自覚を持ち、自分の生活を見直し、寮生の手本となれるよう、そして自分の仕事を全うできるよう頑張りますので、寮生のみなさん、そして薬師寺先生をはじめ寮務に携わる先生方、これからよろしく願います。

機械工学科 5年  
和才 蓮



前期寮生会長

昨年度後期より寮生会長を務めさせていただきました。私が寮生会役員として過ごした2年間はこれまでの寮生活の中でとても充実した期間でした。

特に大きな問題を起こす寮生はおらず、平和な寮を維持することができたと思います。これも寮主事室の先生方、そして指導寮生のみなさんの厳しい指導のおかげだと思っています。ありがとうございました。

私が行った活動としては、月に1度先生方とのミーティングを開き連携を深めようとしてきました。寮生の疑問や寮生会の改善点を議論し解決した問題もいくつかありました。後期からも坂本君を中心に新寮生会として頑張っていきたいと思っています。4年生達は仲が良くまとまりがあるので大丈夫だと信じています。

さて、私は5年前から寮生活を過ごしてきた中で様々な経験をする事ができました。もちろん楽しいことばかりではありませんでした。むしろうまくいかないことだらけであったかもしれませんが。それでも互いに励まし合い、助け合うことでこの5年間、本当に楽しい素晴らしいかけがえのない時間を過ごすことができました。

数ヶ月後にはこの寮を離れてしまうことは大変寂しく、まだあまり実感が湧いて来ません。それでも、またこの明野台地に皆で集えることを楽しみにしています。



## 本科 新入生・留学生の声

### 1 年生

#### 高専に入学して

機械工学科1年 梁矢 一樹

僕が高専に入学して驚いたのが、課題が思った程キツくないということです。他校の友人に聞いてもとても少ないと驚かれるのがほとんどです。ですが、テストの欠点は60点という普通科高校と異なりとても辛いものになっています。

僕もこの欠点が60点というのは正直甘く見ており反省が必要だと前期中間テストで痛感しました。

課題が少ないということは、それだけ自主勉強の大切さを示しています。自由な時間はたくさんあるので「質のいい効率的な自主勉強」をしていこうと思えました。

しかし、キツイことばかりではありません。クラスの人みんな面白くて活発で趣味も合うので毎日がとても楽しいです!

昼休みにみんなでスポーツをしたりして汗を流すこともできます。

そして、これから5年間という長い時間の中でより深い知識や技術を身につけて自分の夢に近づけるように日々努力していきたいです。

#### 新天地で感じた事

電気電子工学科1年 小林 典

私がこの2ヶ月で入学前より強く感じたのは、欠点60という高い壁です。普通の高校では欠点は30点。つまり、高専では倍の点数をとらなければいけません。しかし、ここでは課題がないといっても過言ではない程、自分の時間が多く、学生の自主性に委ねられており、中学校とは異なるこの様なスタイルに驚くばかりでした。「自主的に勉強する」、勉強する癖が身につけていない私にとって、この言葉を実行に移すことは大変でしたが、毎週水曜のALHや寮の学習室などを活用し、定期試験に向けて勉強しまし

た。分からない所を先生や友達に聞くと、優しくかつ分かりやすく教えてくれました。特に、専門科目は同じ学科の学生にしか分からないので、クラス内での教え合いが盛んだと感じました。

中間テストが終わり、反省すべき点は数多くありますが、ここで学んだ事はこれからの生活を豊かにすると信じていますので、しっかりと目標を定め、先を見据え、自分で考えて行動できる人間になりたいと思います。

#### 高専に入学して

情報工学科1年 高山 莉寧

大分高専に入学して3ヶ月、はじめての経験ばかりで戸惑いましたが、徐々に慣れてきました。

中学校や普通高校と違い90分授業にかわり、授業の進むスピードが早くなりました。内容も難しいのにくわえ、欠点が60点と高く、進級が難しいと感じています。しかし、分からないところがあれば先生方の研究室に行き質問すれば優しく熱心に教えてくださり、理解を深めることができます。

また、私は寮に入っています。寮での生活は今まで親がやっていた掃除や洗濯などを自分でしなければなりません。それらに慣れるまでは大変でしたが、今は勉強会を開いて互いに分からないところを教えあったり、違う学科の子とも触れあったりして、楽しい寮生活を送っています。

これからの5年間、大変なときもあると思うけど、一つ一つ乗り越え充実した高専生活にしたいです。

#### 自由と責任

都市・環境工学科1年 池永 花

私が大分高専を志望した理由の一つに、学習・教育目標に含まれる「愛の精神」があります。このような目標を掲げた学校は珍しく、私の「大分高専で学びたい」という思いを強くしました。また、

実際に大分高専の学生になった今は、この目標により実現された自由な校風の中で勉強や部活動などにのびのびと取り組むことができている、あの時の自分の判断は間違っていなかったと思うことができている。

しかし、「自由」と「責任」は背中合わせです。宿題が少なければ勉強をしなくてもよいのか。余裕のある朝の時間や長期休暇をどのように使うのか。中学校や普通高校よりも縛りが少ないからこそ、一つ一つの選択が大事になってくるのだと、入学して3ヶ月が経った今、身を以って感じています。

自分の道は自分で拓く。未だに不安もありますが、自らの行動に責任を持ち、多くの技術を身につけ、夢の実現に向かい、努力を惜しむことなく、これからも日々邁進していきたいです。

### 留学生

#### 日本に楽しみに

情報工学科3年 バチュカ

私はモンゴルから来ました。日本に来たのは初めてですが、昔から日本のことに興味を持っていました。

子供の頃から日本の相撲をみて、初めて日本という国のことを知りました。そして、アニメやドラマをみて日本人の日常生活を少し分かりました。その時、日本についてのドキュメンタリーもみて新幹線や侍や桜の花などのいろいろな面白いことを学びました。

日本の教育レベルはモンゴルより高いのでチャンスがあったらそこに留学したいと思いました。そして、日本で学んだ技術を用いて自国を日本のように開発したいと思いました。その思考を持って、そして、日本のことを詳細に調べるために日本の留学に決めました。

私はここでもっといろいろな面白いことをしたり、学んだりするのを楽しみにしています。

# 地域共創テクノセンターから

高等専門学校(高専)では教育研究活動に加えて、積極的な「地域貢献(地域連携)」に関する活動も推進しており、大分高専においても平成13年度に、従来の実習工場と共同教育研究センターを工業技術に関する教育と研究のための学内共同利用施設に統合し、総合教育研究センターを設置しました。

平成18年度には地域との連携交流をさらに促進するため、名称を地域連携交流センターと改称、さらに、平成29年度には、これまでの産学官連携活動を強化して新たに地域共創を展開するため、地域連携交流センターと環境科学技術センターを改組し、地域共創テクノセンターとして生まれ変わりました。

地域共創テクノセンターでは、連携協定を締結している大分県が掲げている「安心・活力・発展プラン」を基に「南

海トラフ」、「温泉県おおいた」、「豊の国共創」の3つのキーワードを掲げて、「安心部門」、「活力部門」、「発展部門」に加え、これまで活動を行ってきた理科教育支援を含む「知力向上部門」の4部門を設け、本校の全教員がいずれかの部門に所属することにより、学科を越えた連携研究を行います。

地域共創テクノセンターには、運営委員会メンバーの教職員組織といったソフト対応部分と本部、共同教育研究棟、共同プロジェクト研究棟及びICT分析・計測実験室等のハード対応部分があり、各科教職員が展開する研究や共同研究等に利用されている外、学外の教育研究機関や企業研究者あるいは技術者の方々にも本校設置の機器類を利用していただくことが出来る仕組みがあります。

また、地域連携の活動拠点として、次

のような取り組みや活動を主に行っています。

- 技術相談窓口、共同研究、受託研究、寄附金の受入れ
- 技術講習会、講演会、公開セミナー及び小学生から社会人までの幅広い年齢の方を対象とした講座の実施
- 「科学と遊ぼう!」の実施等、地域文化、マインド形成への貢献を目的とした科学技術教育支援活動
- コンクリート受託試験の実施
- 大分高専テクノフォーラムとの連携による技術講演会(年2回)の実施

このような活動は社会のニーズと本校の誇る研究教育能力の接点を増やす貴重な機会であり、本校教職員が一丸となって取り組んでいるものです。



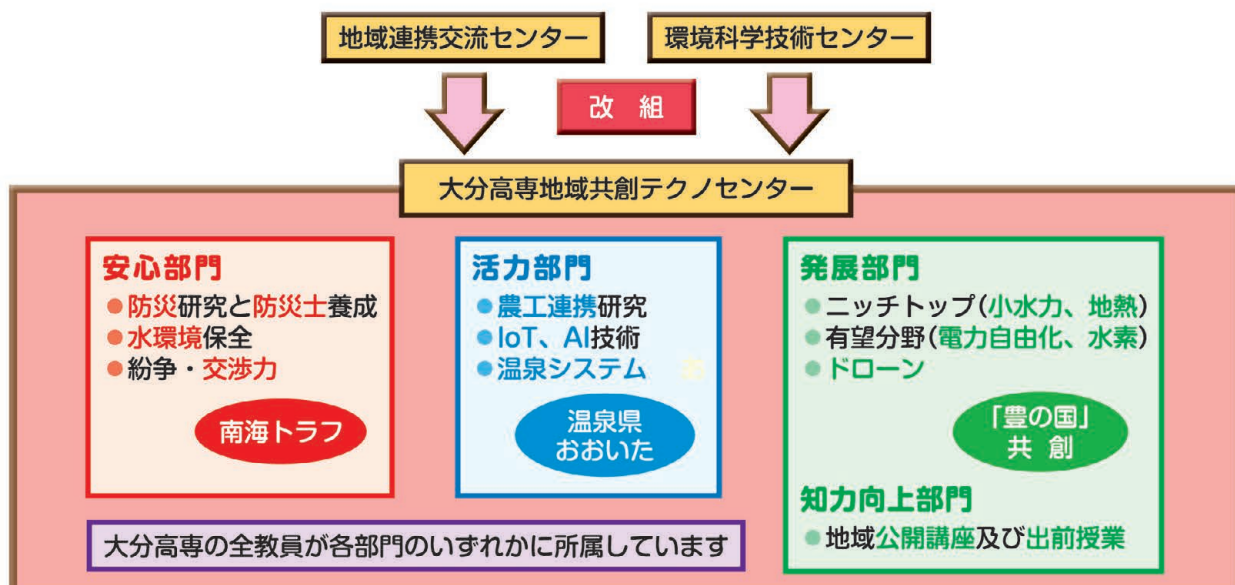
テクノフォーラム第27回技術講演会



科学と遊ぼう!



公開講座



# 国内インターンシップ報告

## 国内インターンシップ

### 4M 工藤 湧太

私は8/18~8/31の約2週間東レ株式会社のインターンシップに参加させていただきました。

主な研修内容は、他社の不織布を観察し、考察をしました。不織布というのは、読んで字のごとく織られていない布の事でオムツなどに使用されています。具体的には不織布をCADでモデルを作成し、CAEで解析を行いその結果について比較、考察しました。

このような研修を通して、私が学んだことは自分の意見の大切さです。私の性格上他人の意見に流されやすく、目上の人には自分の意見を言うのを遠慮していました。ですが、より良い製品を生み出すためにはいかに多くの意見を言い合い、討論できるかが大切だとわかり、積極的に意見することができました。

後輩へのアドバイスとしては、メモをとり積極的に質問することが大事だと思います。さらに、参加する前に会社概要や、なぜその企業を選んだのか具体的な理由を持っておくと良いと思いました。

このインターンシップは自分がやりたいことや課題が見つかったので、今後の学校生活や就活に活かしていきます。

### 4E 阿部 聖成

私は8月27日から9月7日までの約2週間、川崎重工業株式会社のインターンシップに参加させていただきました。主な研修内容は色々な機械の制御プログラムを組んだり、電気系の数値計算などをしていました。

川崎重工は重工会社というだけあって、大きな製品を作っています。私は実際に働くことにより大きな製品を作る上で大切なのはチームワークなんだと感じることができました。チームワークが良

いからこそ、社内の風通しが良く、とても働きやすい環境でした。担当の社員さんたちには仕事外でも、色々な所に連れて行ってもらったり共通の趣味であるカワサキのバイクについて話したりしてとても充実することができました。

インターン中には座談会があり、社員さんたちと色々な話をして、自分の進路について深く考え、将来こうでありたいという自分の将来像を明確にすることができました。

私はこれからもっと実験、実習に積極的に取り組んでコミュニケーション能力を高めていき海外でも活躍できるように英語力をつけていこうと思いました。そして今回の経験を活かし、今後の学校生活を送り、進路について考えていきたいです。

### 4S 吉海 皓貴

私は8月20日から24日までの5日間、リンク情報システム株式会社のインターンシップに参加させていただきました。

このインターンシップでは「音声認識AIを用いたAndroidアプリケーション」の開発を行いました。具体的には設計書を元にプログラミングをするというもので、学校の授業とは違い、他の人が見ても分かりやすいプログラムを書くことでメンテナンスをしやすくするように心掛けて作業を行いました。また、会社には納期があるので、わからないことを1人で考えるのではなく、積極的に他の人とコミュニケーションをとって作業を進めることが大事だということを学びました。

開発の作業は実際の職場でさせていただきました。そこではチーム開発で教えあっている姿など、リンク情報システムの明るい職場の雰囲気を感じながら作業することができ、このような職場で働きたいと思いました。

最終日には先輩社員の方との懇親会が

あり、仕事のやりがいや会社の雰囲気などについての貴重なお話を聞かせていただきました。これらの経験を自分の将来設計に活かしていきたいです。

### 4C 穂積 慶人

私は8月27日から31日までの5日間、三井住友建設(株)のインターンシップに参加させていただきました。現場は大分県中津市の中津3号トンネル作業所でした。主な実習内容としては、品質管理試験、型枠の設置、覆工コンクリートの打設の見学で、実際に私は測量と安全点検をさせて頂きました。

私は今回の現場実習で皆さんからお話を伺う中で、ゼネコンという職業の醍醐味を自分なりに見つけることができました。それは自分が携わったトンネル、橋などが完成した後、実際に自分が通った時の感動を味わえることです。思い入れがありすぎて、思わず涙を流したという方もいらっしゃいました。それくらいゼネコンという職業は興味深いものなのだと感じました。

後輩に向けて私が伝えたいのは充分予習をして行って欲しいということです。作業員の方から説明を受ける中で簡単な専門用語の意味が分からずに話が通じない場面があり、非常に勿体ないと思いました。あとはとにかく積極的な気持ちをもって参加してほしいと思います。ぜひ、頑張ってください。





## イングリッシュ・ルーム

国際交流・留学生担当

一般科目 穴井 孝義 教授

高専におけるグローバル教育推進活動の一環として、本校では「英語が使える高専生」を育成すべく、学生の英語コミュニケーション能力を向上させるための数々のプログラムを推進しています。その中から今回は、昨年度後期にスタートした「イングリッシュ・ルーム」についてご報告します。

本プログラムは、後援会からのご支援を受けて県内在住の外国人留学生（APU生）を講師として招き、毎週水曜日のアクティブ・ラーニングアワーを利用して、明芳会館において誰でも自由に参加して英語で気軽に会話できる環境を実現したものです。

本活動の趣旨は、英語を喋ってみたい人や英語に興味のある人、海外留学を考えている人、外国人の友達を作りたい人、さらには自分の英語力を試してみたい人などが、外国人留学生の講師との英語での会話や触れ合いを通して交流の輪を広げると同時に、各自の英語コミュニケーション能力の向上も図ってもらうことです。

留学生の講師は、昨年度からの2人が引き続き担当してくれています。1人はタイ出身のゲーム君、もう1人はベトナム出身のヒエンさん。2人とも本校生のためにしっかり事前準備をして活動を盛り上げてくれています。

実施時間は90分間。前半は講師が英語で趣旨説明をした後、全員で英語を使って連想ゲームをしたり、講師からの質問クイズに英語で答えたりして楽しく取り組んでいました。後半は国際理解を念頭に、講師が自国の話題を中心にパワーポイントを使って写真や統計グラフなどを見せながら解説し、英語での質疑応答を展開していました。

水曜日は学校行事や補習、補講などが入ってくることもあり、それ程多くは開催できませんが、このプログラムに参加するのを毎回楽しみにしてくれている学生がいることをとても喜ばしく思います。今後も可能な限り、学生と留学生の触れ合いの場を多く提供できるよう努めていきたいと思っています。



## ITS2018

### 高専アイデアソン参加報告

国際交流・留学生副担当

機械工学科 菊川 裕規 教授

2018年5月7日～10日の間、福岡国際会議場にて開催されました第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム2018の特別イベントとして、高専生およびアジア地域の学生によるアイデアソンが開催されました。アイデアソンとは、アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、特定のテーマについて、様々な分野の人々が集まってグループでディスカッションをして、短期間で新たなアイデアの創出とブラッシュアップを行うイベントです。

今回、九州沖縄地区高専生とアジア地域よりシンガポール、モンゴル、タイ、香港、マレーシアの学生が80名ほど集い、混合でグループを形成し、英語でディスカッションし、新しいアイデアを提案するイベントが行われました。テーマは「ITS技術を活用して、いかにしてアジア各国の交通事故を減らすか」というテーマでした。ITSとはIntelligent Transport Systems：高度道路交通システムのことで、人と道路や自動車の間で

情報の受発信を行い、道路交通が抱える事故や渋滞、環境対策など、様々な課題を解決するためのシステムのことです。

本校からは、専攻科生5名と留学生1名が参加してくれました。1日目は事前研修会が行われ、アイデアソンについて学びました。2日目はグループ編成を行い、アイデアの創出を行いました。3日目はアイデア発表を行い、好みのアイデアに投票し、アイデアを絞り込みました。さらに絞られたアイデアを基に、再度チーム編成が行われ、アイデアをブラッシュアップして、発表資料を作成しました。4日目は成果発表会と表彰式が行われました。

各チーム創意工夫を凝らしたユニークなアイデアが提案されました。例えば、ドライブレコーダーの画像を収集したビッグデータをAIで解析するシステム、GPSと各種センサーを連動させ交差点に近づく自動車情報を提供するシステム、リストバンドを付けて運転手の状態を監視するシステムなど、すぐにも実現できそうなアイデアも数多くありました。

本校から参加した5Cノオンリーさんのチームは最優秀賞を受賞し、MC専攻1年の本田信也さんと秋月智也さんのチームはスポンサー賞を受賞しました。本フォーラムには日本を代表する自動車メーカーと関連産業の技術者や経営者が数多く参加されていました。高専生の技術力の高さを示すことができたと共に、国際交流を通じて世界で活躍できる技術者の卵であることを強く印象付けるイベントでした。

